

1 学期 5/19(月)～ 30(金)の期間で必ず 3 回参観してください。(1 回は担当教科を見る)

※授業参観中に写真をとって Teams の「アイスタ」に投稿をお願いします。

授業参観シート 回目

参観した人()

授業者()先生

()月()日()曜日

()年()組()限目 教科()

○授業を始めるときの 5 項目チェック☑

☐ 1 分前着席

☐ 生徒が準備できているか

☐ あいさつで静止、服装確認

☐ 身の回りの整理(机上、かばんなど)

☐ 教室をきれいに整理(ゴミが落ちていないか)

学校教育目標:「たくましく生きる人」の育成			評価 ◎・○・△			
めざす学力	1 基礎的・基本的な力(知識・技能) ①聴く・話す・読む・書く力が身についている。 ②表現するための基礎的な力が身についている。					
	2 自ら考え、表現し伝えられる力(思考力・判断力・表現力) ①自分で考え、説明することができる。 ②間違いを恐れず根気よく表現することができる。					
	3 他者と関わる力(学びに向かう力・人間性等) ①仲間と協力して課題を解決しようとすることができる。 ②学ぶ意義を理解し、将来を見通して行動することができる。					
【大阪府情報活用能力ステップシート 中学版】(詳細裏面)						
① 学びスキル			(窪田意訳)			
A 課題の設定	社会課題に関する課題を設定できる		生徒自身が目標をたてる場面			
B 収集	統計的な調査も含めて設計し、情報を効果的に収集・検証できる		自分で学習方法を選ぶ場面			
C 整理・分析	ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係を捉えられる イ 目的に応じて、複数の表やグラフを用いて情報を整理・分析することができる ウ 目的に応じて、収集した資料を多面的・多角的に考察し、意味を見いだせる		ア 理由や根拠などを説明する場面 イ 情報をまとめる場面 ウ まとめた情報から考察する場面	ア	イ	ウ
	D まとめ・表現		まとめた情報を表現する場面			
E 振り返り・改善	情報活用を振り返り、観点を決めて評価し、改善できる		振り返り、改善する場面			
②学校図書館活用スキル(F 本やメディアに親しむ G 図書館資料を活用力、H メディア活用力)			授業中に活用場面があった項目のアルファベットを記入			
③ICT の基本的操作スキル(J 入力 K アプリケーション等の使用・操作 L 検索 M 保存)						
④情報モラル・情報セキュリティ(N 情報の取り扱い O 情報セキュリティの理解 P 情報モラルQ 情報社会に参画)						
⑤プログラミング(R 問題解決の手順を考える力S プログラミング的思考T 分解 U 抽象化 V 組み合わせ)						
意見	教科書・タブレット・本など情報の活用場面		よかったところ		改善点・気になったこと・疑問	
	[活用していた情報媒体に○をつける] 教科書・インターネット・その他()					
	[どのように活用していたか]					

大阪府情報活用能力ステップシート(中学版)

(中学校で身につけさせたい情報活用能力)



①学びスキル

A 課題の設定	社会課題に関する課題を設定できる
B 収集	統計的な調査も含めて設計し、情報を効果的に収集・検証できる
C 整理・分析	- 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係を捉えられる - 目的に応じて、複数の表やグラフを用いて情報を統計的に整理・分析することができる - 目的に応じて、収集した資料を多面的・多角的に考察し、新たな意味を見いだせる
D まとめ・表現	様々な相手や目的に応じて情報をまとめ、WEB 等で適切且つ効果的に表現できる
E 振り返り・改善	情報活用を振り返り、観点を決めて評価し、改善できる

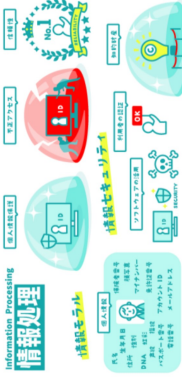
②学校図書館活用スキル



F 本やメディアに親しもうとする態度	- 本やメディアを適切に選択し課題を解決しようとする - 自分の考えを広げたり深めたりすることに、読書を生かそうとする - 考えの根拠として、さまざまな資料、データから読みとった複数の情報を活用し、自分の意見を表現できる - レファレンスサービスの活用方法について理解して、学校図書館を利用できる
G 図書館資料を利用する力	参考図書などの使い方がわかる
H メディアを活用する力	- 目的意識や他者意識をもって工夫して情報を発信したり、フィードバックをもらって改善したりすることができる - 目的に応じて必要な学校図書館メディアを複数選択し、比較検討することができる
I 公共図書館を活用する力	自ら調べたいことや知りたいことを解決するために各種施設（公共図書館、博物館、資料館）を利用し、課題解決のために活用することができる

③ICTの基本的操作スキル

J 入力	キーボードで漢字や句読点等を含めた文章入力ができる又は別の方法で同程度の文章入力ができる（25 文字程度/1 分間）
K アプリケーション等の使用・操作	複数のアプリケーションを関連づけて操作できる
L 検索	目的に応じて適切に検索できる
M 保存	クラウドを用いて、規則性に従ったフォルダをつくったり、圧縮やパスワードによる暗号化などを用いた管理ができる



④情報モラル・情報セキュリティ

N 情報の取り扱いに関する理解	発信した情報等について情報社会に及ぼす影響を理解できる
O 情報セキュリティに関する理解	セキュリティソフトやフィルタリングなど、情報セキュリティ確保のための対策を自ら確認し、実施できる
P 情報モラルなどに配慮しながら情報を活用する力	- 生成 AI の仕組み、利便性、リスク、留意点がわかる - より良い回答を引き出すための生成 AI との対話の方法がわかる - 目的に応じてアプリやインター・ネット上のサービス等を選択して安全に利用できる
Q 情報を適切に取り扱えないながら情報社会に参画しようとする態度	- 情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、適切に行動しようとする・社会は互いに法律やマナーを守ることと成り立っていることを ふまえて、行動しようとしている - 情報や情報技術を、持続可能な社会づくりに生かそうとする

⑤プログラミング

R 問題解決の手順を考える力	アクティビティ図などにより表現できる
S プログラミング的思考	生活や社会の中からプログラムに関わる問題を見い出して課題を設定し、プログラミングの思考等を発揮して解決策を構想したり、処理の流れを図などに表し思考等を通じて解決策を具体化できる
T 分解	計画・制御、双方向性のあるコンテンツの制作、ネットワークやデータを活用して処理するプログラミングを行うために、必要な動きに分解できる
U 抽象化	目的や意図に合わせ、必要な動きを見いだし、課題解決に必要な機能をプログラミング言語等を用いて表現することができる
V 組み合わせ	安全・適切なプログラムとなるように、複数の命令を組み合わせたリ、他者と協働して粘り強く、より効果的なプログラムとなるよう評価、改善及び修正を行うことができる

